

July 9, 2019

【前日の為替概況】ドル円、米 10 年債利回りが 2.05%台まで上昇したことで 108.80 円まで上昇

8日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3日続伸。終値は108.72円と前営業日NY終値(108.47円)と比べて25銭程度のドル高水準だった。5日の6月米雇用統計が堅調な内容だったことを受けて、米利下げへの過度な期待が後退すると全般ドル買いが進行。前週末の高値108.64円を上抜けて一時108.80円まで上値を伸ばした。米10年債利回りが上昇に転じたことも相場の支援材料。なお、主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時97.42まで上昇した。

ユーロドルは続落。終値は1.1214ドルと前営業日NY終値(1.1225ドル)と比べて0.0011ドル程度のユーロ安水準だった。米早期利下げ期待の後退でユーロ売り・ドル買いが進行。1時過ぎに一時1.1207ドルと日通し安値を付けた。なお、今日の高値は欧州時間に付けた1.1234ドルで値幅は0.0027ドル程度と小さかった。

7日投開票のギリシャ総選挙は事前の世論調査通り、野党の新民主主義党(ND)が単独過半数を獲得し、波乱なく通過した。ただ、市場では「欧金融危機の震源地となったギリシャで国家経済の立て直しが軌道に乗るかどうかは予断を許さない」との声が聞かれた。

ユーロ円は3日続伸。終値は121.93円と前日NY終値(121.75円)と比べて18銭程度のユーロ高水準。ドル円や日経平均先物の上昇につれた買いが入り、5時前に一時121.97円と日通し高値を更新した。

メキシコペソは堅調。WTI原油先物価格の上昇を背景に産油国通貨とされるメキシコの通貨ペソに買いが入った。メキシコが米国への移民流入を阻止する取り組みを強化したことを受けて、先週トランプ米大統領は「対メキシコ関税は検討の対象にない」などと発言。米国による関税措置のリスクが低下していることもペソの下支え要因となり、ドルペソは一時18.8644ペソ、ペソ円は5.76円までペソ高に振れた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、NY株安・債券安とパウエルFRB議長証言控え動意薄か

本日の東京市場のドル円は、明日10日のパウエルFRB議長の議会証言やイラン情勢への警戒感、ニューヨーク株安・債券安から動意に乏しい展開が予想される。

ドル円のテクニカル分析では、1月3日のフラッシュ・クラッシュ時の安値104.87円からダブルトップ(112.14円・112.40円)の高値までの半値押し108.64円を上回っていることで続伸が予想されるが、一目均衡表・雲の下限109.44円が上値の抵抗帯となっている。

オーダー状況でも、108.90-109.00円には断続的にドル売りオーダーが控えているが、超えるとストップロス買いが控え、109.00円には9日と11日のNYカットオプションが控えており上値を抑える要因となっている。

明日のパウエルFRB議長の議会証言では、米6月非農業部門雇用者数(前月比+22.4万人)を受けて、7月30-31日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で予防的利下げ(0.50%か0.25%)が断行されるのか、あるいは9月以降に先送りされるのかを見極めることになる。

ニューヨーク株式市場は、5日の米6月雇用統計の発表以来、5日、8日と続落しており、0.50%の予防的利下げ観測が後退している。債券市場は、0.50%の利下げ観測は後退しているものの、0.25%の利下げを織り込んでいる。為替市場ではドルは全面高となっており、0.50%の予防的利下げ観測は後退し、0.25%の利下げ、あるいは利下げ見送りを織り込みつつある。

パウエルFRB議長は、昨年秋までは中立金利水準には依然として距離があるとして利上げ路線を邁進し、バランスシートの縮小は自動操縦とタカ派を標榜していた。今年になってからは、利上げには「忍耐強く」とし、最新は「適切に対応」として、ニューヨーク株式市場が史上最高値を更新する中で、予防的利下げを示唆するハト派となっており、議会証言でもハト派路線を貫く可能性が残されている。

市場の懸念材料は、イラン情勢を巡る地政学リスクが台頭していること、休戦状態の米中通商協議の難航が報じられていること、などが挙げられる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 5月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比▲0.6%）
- 08:50 ◇ 6月マネーストック M2（予想：前年比 2.6%）

<海外>

- 08:01 ◇ 6月英小売連合（BRC）小売売上高調査（予想：前年同月比▲1.1%）
- 10:30 ◇ 6月豪 NAB 企業景況感指数
- 14:45 ◇ 6月スイス失業率（季節調整前、予想：2.2%）
- 17:00 ◎ ビスコ・イタリア中銀総裁、講演
- 17:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 21:15 ◇ 6月カナダ住宅着工件数（予想：21.00 万件）
- 21:30 ◇ 5月カナダ住宅建設許可件数（予想：前月比▲2.5%）
- 21:45 ☆ パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、あいさつ
- 22:00 ◎ 6月メキシコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.06%）
- 23:10 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、講演
- 23:15 ◎ レーン・フィンランド中銀総裁、講演
- 10日 02:00 ◎ 米財務省、3年債入札
- 10日 03:00 ◎ クォールズFRB副議長、講演
- 10日 03:20 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- EU 財務相理事会（ルクセンブルク）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

8日 06:25 トランプ米大統領

「理解しているのであれば、FRBは利下げするだろう」
「中国は自国通貨を引き下げている」
「イランは核兵器を所持しないだろう」

8日 07:08 ビルロワドガロー仏中銀総裁

「必要ならば中銀は断固として行動する」
「我々は市場を注視しているが、市場次第ではなく、あくまでもデータ次第」

8日 09:27 黒田日銀総裁

「今後も物価目標に向けたモメンタムを維持するために必要な政策調整を行う」
「当面の間、少なくとも2020年春頃まで極めて低い金利を維持」
「景気の先行きは基調としては緩やかながら拡大続けると見ている」
「コアCPIは2%に向け徐々に徐々に上昇率を高めていく」

8日 16:51 フォックス英国国際貿易相

「(トランプ米大統領を酷評した)駐米英大使のメモ、英政府の見解とは異なる」
「メモ内容の漏洩は英米関係を傷つけるものになり得る」

8日 18:50 ロシア大統領府

「週末の露トルコ首脳の話電話会談では、S400は導入段階であるということが確認された」

8日 19:10 バラッカー・アイルランド首相

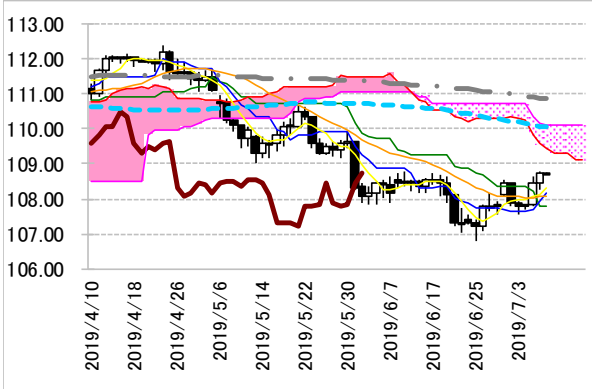
「更なるブレグジット延期については消極的」
「もし英総選挙となれば、離脱延期への良い言い訳となるだろう」

8日 20:12 クーレ ECB 理事

「もし必要であれば量的緩和を再開することは可能」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

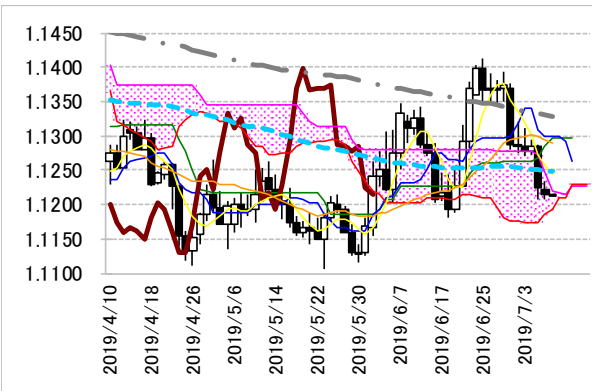


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の下で推移しているものの、買いシグナルが優勢な展開となっている。4日の寄り引同事線、2手連続陽線で反発基調にあり、雲を上抜けることが出来るか否かに要注目となる。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回った場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	110.13(日足一目均衡表・雲の上限)
レジスタンス 1	109.44(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	108.72
サポート 1	108.17(日足一目均衡表・転換線)

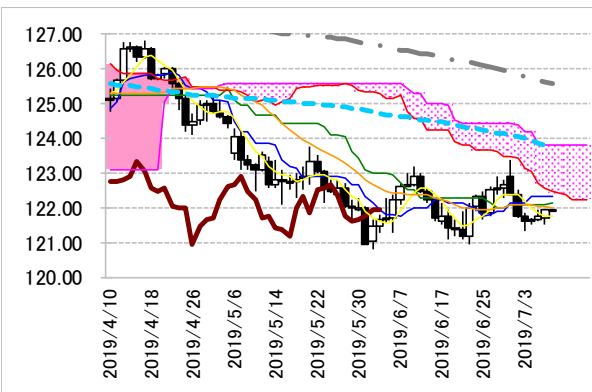


<ユーロドル＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、雲の中で推移し、一目・転換線を下回っていることで売りシグナルが優勢な展開となっている。雲の下限を下抜けた場合、11日にも三役逆転となる可能性が高まることになる。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1297(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	1.1214
サポート 1	1.1192(日足一目均衡表・雲の下限)

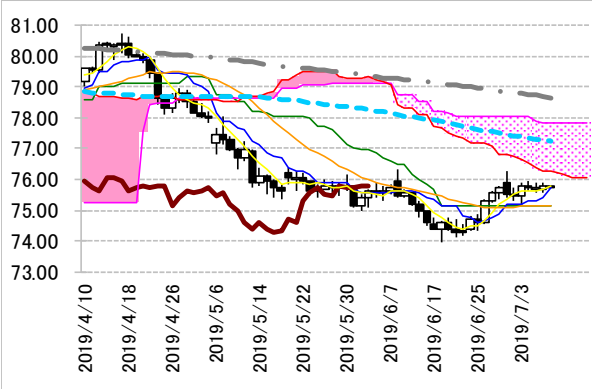


<ユーロ円＝3日安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・雲の下で推移しているものの、一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回っていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、3手連続陽線でも7月2日の陰線の始値や一目・転換線を上回ることが出来ないことで戻りの可能性に要警戒か。

本日は、3日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	122.34(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	121.93
サポート 1	121.32(7/3 安値)



<豪ドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

小陽線引け。遅行スパンは実線を上回り、一目・転換線は一目・基準線を上回り、雲の下で推移していることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	76.26(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	75.81
サポート 1	75.12(日足一目均衡表・基準線)

